

		事業所管部局	国土交通省河川局
計画事業名	都市基盤河川改修事業(五反田川放水路)	事業担当局	建設局
事業採択年度	着手年度 H4年度	認可・承認等年度	H4年度
経過年数	10年	該当条項	事業採択後10年間を経過
完了予定年度	H21年度	関連事業名	
事業の目的概要課題	<p>事業目的 平瀬川水系の治水安全度を確保する為に延長2,152m 洪水全量 毎秒150m<sup>3</sup>の放水路を建設するものです。</p>	<p>事業採択時の背景及び契機 五反田川が合流する二ヶ領本川は、河道上空を主要地方道川崎府中が占有し、高度に都市化されており、河道拡幅による通常の改修が不可能であるので、二ヶ領本川の計画高水流量の負担を軽減させる為、五反田川の洪水を直接多摩川に放流する放水路が計画された。</p>	
	<p>事業内容 全体事業概要 ・トンネル：内径8.7m 延長L=2,025m ・分流部：立坑1基 ・放流部：立坑1基 過年度整備完了箇所 ・分流部発進立坑(平成12年度完成) 残事業箇所 ・トンネル L=2,025m ・分流部施設一式(発進立坑を除く) ・放流部施設一式</p>	<p>事業採択(着工,未着工)から基準年を経過している主な理由 ・放流部は住居地域で集合住宅もあり、用地取得に際し地権者との補償問題等に多大な時間を要した。 ・トンネル部については一部住居地域の地下となるが、区分地上権の設定について、地権者の同意を得るのに時間を要している。</p>	
	<p>事業費規模(単位：百万円) (1) 事業費 31,500 (うち 国庫補助金 9,450) (2) 残事業費(平成13年度以降残) 24,185</p>	<p>現状の課題 ・トンネル部の区分地上権設定箇所において地権者の同意が得られず交渉が難航しているが、事業の重要性を十分に認識し、早期解決にむけ地権者との交渉を進めていく。 ・トンネル工事に着手すると平成18年度前後数年間に事業のピークを迎える為、事業費の確保が課題である。</p>	

評価の概要	<p>五反田川及び二ヶ領本川については、時間雨量35mm(1/1.5)の河道改修が概成の段階を迎えているが、水系の治水安全度を高める抜本的な治水対策として、五反田川の洪水を直接多摩川に放流する放水路を整備することにより、分流部下流域の五反田川及び二ヶ領本川が現況のまま、将来計画である時間雨量90mm(1/30)までの対応が可能となる。</p>
-------	--

再評価への考え方	<p>本事業が完成すると放水路分流部下流域の五反田川と二ヶ領本川が現況断面のまま、将来計画である時間雨量90mmまでの能力が確保され、浸水面積400ha、浸水戸数8300戸の洪水被害を軽減することが出来るので、市民の生命と財産を守る為、事業を継続する必要がある。</p>
----------	---

対応方針案	<p>対応方針案 <b>継続</b>・中止・休止</p> <p>対応方針案の考え方 ・本事業は五反田川と二ヶ領本川の抜本的治水対策として引き続き整備を行う。 ・トンネル部の区分地上権設定箇所については、地権者の協力を得られるよう努力し、投資効果の早期発現を目指す。 ・平成18年度前後数年間の事業費ピークに対応すべく予算枠を確保し、円滑な事業の執行を目指す。</p>
-------	---